

学校評価の結果について

向春の頃、保護者の皆様方におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、誠に有難うございます。

さて、12月に実施しました学校評価アンケートは、お世話になりました。皆様方からいただきました評価は、真摯に受け止め、下記のように来年度の教育に生かしてまいります。

なお、アンケートは全家庭、4年生以上の全児童、全職員を対象に行いました。今後ともよろしく願いたします。

平成22年度 自己評価書・学校関係者評価書 学校名 ( 高平台 小学校 )

■ 4-そう思う    ■ 3-どちらかといえば、そう思う    ■ 2-どちらかといえば、そう思わない    □ 1-そう思わない

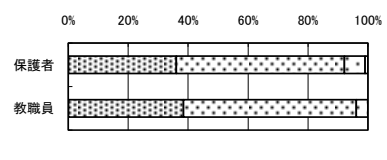
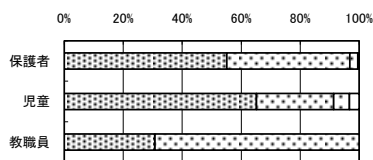
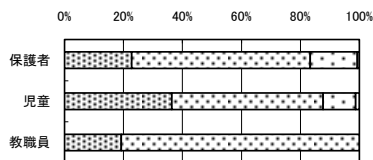
学校教育目標

1 教育方針・目標の理解      2 意欲的な学校生活      3 教師の連携協力

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。



【学校から】本校の教育方針についてはPTA総会、学級懇談会や学年学級通信、学校便りなどで具体的に知らせた。そのため、昨年度と比べ、「そう思う」や「どちらかと言えばそう思う」が90%近くを示した。また、児童にも月の生活目標については、全校朝会で講話で示したり、したり各学年で工夫したりした取り組みが行われ、教師の連携協力の体制を強めることができた。意欲的な学校生活については大きな変化がなかったことがあげられる。保護者・児童・教職員とも殆どが「楽しい」と答えているが、課題として、めりはりのある学校生活の中での楽しさを意識させるようにしなければならない。

教科指導

4 授業づくりの工夫      5 意欲的な学習態度

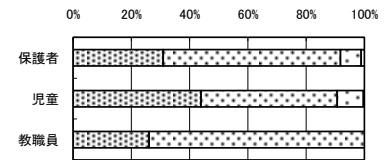
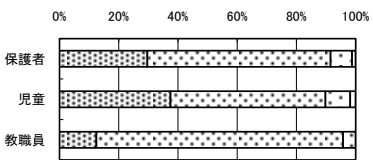
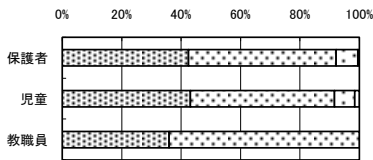
総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。



【学校から】わかる・楽しい授業づくりの基盤として、児童の実態をきめ細かく把握することを大切にしてきた。その実態をもとに、本年度は児童が意欲的に学習に取り組むための手立てとして、昨年度から、ICTを活用した授業を全学級で取り組んできた。また、ペアやグループでの話し合いを重視し、児童の表現力の向上につなげている。この取り組みを始めて、児童の学習意欲の向上、表現力の伸びが見られるようになったので、継続していきたい。

【学校から】児童が意欲を持って学習に取り組むために、課題設定を工夫したり活動内容の見直しをしたりした。また、学校での取り組みを学習発表会や授業参観などで発信することで目的意識を持って取り組むことができている。

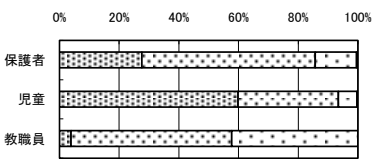
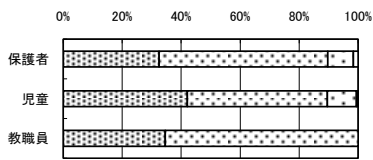
道徳教育 心の教育

7 道徳、心の教育の充実      8 あいさつ、礼儀の励行

【学校から】心の教育の充実については「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」が保護者・児童・教職員がほぼ90%に達している。「あいさつ」については、児童は「よくしている」と「どちらかとしていれそう思う」を合わせて90%である。教職員は「よくしている」と「どちらかとしていれそう思う」を合わせて60%を示した。児童は声は小さいが「あいさつをしよう」とする心は育ってきているのではないと思う。年間3回行っている各学級のあいさつ運動も意欲的で、児童の体験を通したあいさつ行動が身につくと思われる。

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。



人権教育

9 一人一人の生徒の尊重      10 友だちへの思いやり

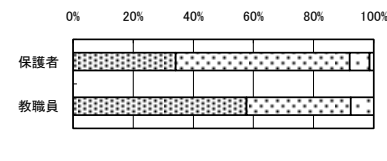
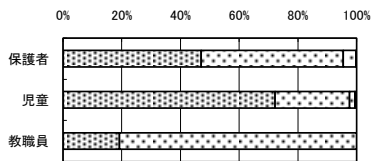
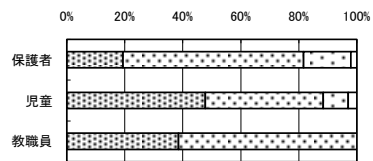
特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていると思いますか。

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



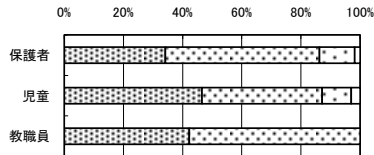
【学校から】例年通り年2回人権週間を位置づけ、全校で取り組みを行ってきた。また今年度は新しい取り組みとして、11月の生活目標に合わせ『高平台心ほかほか月間』を設定し全クラスで言葉づかいについての取り組みを行った。ほかほか言葉・ちくちく言葉をみんなで話し合い言葉の使い方を考えた。また、企画委員会では「心ほかほかポスト」を実施し全校から集まった嬉しい言葉を放送で紹介した。高平台があたたかいことばがふれる学校になるよう今後も取り組みをしていきたい。

【学校から】支援を必要とする児童について校内委員会や学年会などで具体的な支援について検討し、共通理解を図っている。また、校内研修、講演会報告を行ったりして職員の研修を深めることができた。課題として個に応じた支援方法を専門機関などと連携し、より適切な支援を行う必要がある。また保護者向け講演会や懇談会などで保護者への啓発をすすめていきたい。

# 生徒指導 教育相談

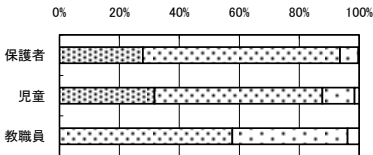
## 12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。



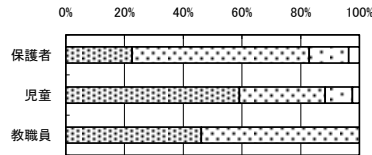
## 13 規範意識

子どもは、まきりやマナーを守っていると思いますか。



## 14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

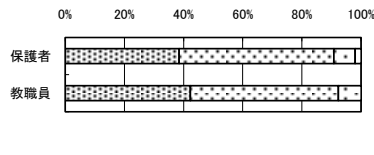


【学校から】本年度は年間を通して、学校の重点生活目標を「あいさつ」「廊下の歩き方」「言葉づかい」「そうじ」の4つに絞り取り組んだ。また、生活安全委員会や学年当番制での取り組みの結果、靴箱の整頓・そうじ、靴並べのマナーがきちんとできるようになった。トイレのスリッパ並べも意識が広がり少しずつ良くなっている。「あいさつ運動」については、9月・11月に兄弟学級同士で朝の全校挨拶運動を実施し、あいさつの輪を広げることができた。規範意識については、保護者・児童と教職員との間に評価の差が見られた。規範意識については、保護者・児童と教職員との間に評価の差が見られた。善悪の指導は教職員の共通理解のもと、さらなる児童理解に努めるとともにめりはりのある指導に努めていきたい。

# 健康教育 安全

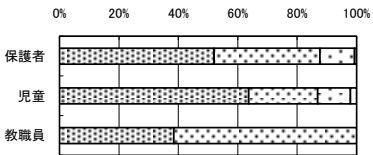
## 15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



## 16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

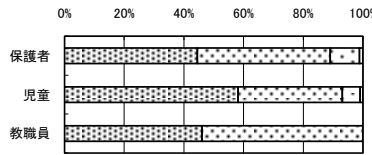


【学校から】道路でも飛び出しや自転車による事故防止のため、今後も繰り返し学級指導を行いたい。学級指導の確保、あるいは学校保健委員会などを通して、外遊びの大切さと体力の向上・食育の大切を児童や保護者に呼びかけてきたので、今年は給食もよく食べ、外に出て遊ぶ子どもが増えた。また、体育の環境設備を充実し、目標をもって運動ができるよう取り組んでいる。

# 学校行事

## 17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

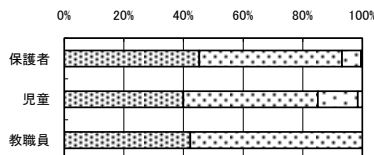


【学校から】児童は様々な学校行事を通して目標をもち努力することの大切さを感じ、その成果を発表することで児童の達成感や満足感を味わうことができている。保護者にも児童の成長を実感していただくよい機会となっている。

# 学校環境

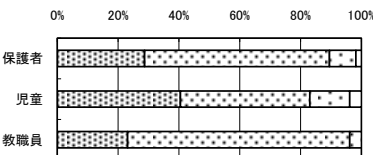
## 18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



## 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

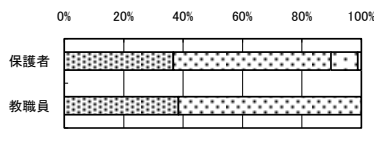


【学校から】本年度は、環境緑化コンクールの相談部門に参加をし校内の樹木の管理へのアドバイスを受けることができた。花壇の整備や花鉢の充実も全校で、計画的に進めてきた。しかし、校舎の耐震工事のため、樹木の移動させたり、一部の花壇が使えなくなったり、作業用具を置く場所の確保に困ることが多かった。高学年の子どもたちが朝から主体的に清掃活動を行ったり、美化月間への呼びかけが行われることにより、児童、職員の意識が高まってきた。さらに、掲示物と学習との関連について工夫を進める必要がある。

# 情報の公開・発信

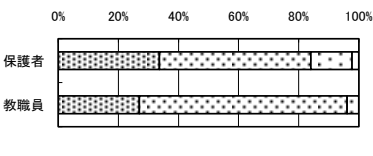
## 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



## 21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

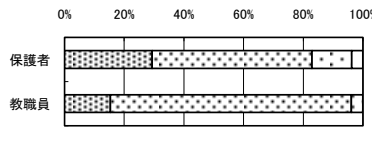


【学校から】学校だよりには毎月の行事を掲載して、学校行事やPTA活動、部活動等の予定を知らせている。授業参観や懇談会等については一か月前には案内のプリントを配布し、多くの保護者が予定を組みやすく参加できるように配慮している。今年度の授業参観では毎回多くの参加者があり、2月の日曜参観には、さらに多くの方が参観された。また、学年・学級通信でも細かい予定内容を知らせている。特に、高平台メールでは不審者情報は近隣の学校と迅速な連絡をとり、注意を呼びかけることができている。

# 家庭・地域との連携

## 22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



【学校から】家庭訪問や学級懇談会等で、担任と保護者との共通理解を図り、共同歩調をとり児童の成長を図るよう努めている。課題としては、家庭の価値観の多様化により、学校の教育方針や対応の姿勢がうまく伝わらない点が時々ある。今後、学校の教育方針や対応の姿勢を具体的な事例を提示しながらより連携を密にする必要がある。

# 来年度の具体的な取り組みについて

○23年度から新学習指導要領が完全実施され、授業時数が過当たり、1・2年生で2時間、3～6年生で1時間増加する。使用する教科書のページ数が25%増加する。春休みが1日、短くなり、冬休みが2日短くなる。標準授業時数増加に伴う授業時間確保に向けた年間教育カリキュラムの工夫や週の日程の改善が必要である。

○近年、様々な理由で、不登校気味の児童、集団活動や一斉授業になじめない児童、担任の指示に応じず立ち歩く児童等いろいろな児童の姿を眼にするようになってきた。小・中・高など、さらに実社会への適応能力を見据え、個々の発達段階を考え、個に応じた支援を学校全体で取り組んでいきたい。また「自分を大切にするために他者を大切にしよう」ということを大切にしたい人間関係づくりを進めていく。

○児童の規範意識に対する保護者間、保護者と教職員とで意識差がある。互いの理解を図りながら信頼と愛情に満ちた教育を行う。

校訓「つよく やさしく かしこく」をめざして次の取り組みに力を入れていきたい。

☆「確かな学力」の確立、体験的な理解や繰り返し学習を重視する、学習の基礎を身につけるための体験活動の充実をはかる。

☆「豊かな心」の育成、言語の能力の重視や体験活動の充実、他者、社会、自然・環境とかかわる中でともに生きる自分への自信を持たせることを重視、基本的な生活習慣を確立、道徳教育を改善・充実をはかる。

☆「健やかな体」の育成、運動を通じて体力を養う、望ましい食習慣など健康的な生活習慣を育成することを重視、食育の充実をはかる。

☆ 学校と地域の連携、学校施設においても地域コミュニティの拠点として学校施設のより一層の活用を図るなど地域と連携した施設とする

# 学校関係者評価

○ 多くの情報を発信してほしい。協力できる所は最善の協力をしていきたい。

○ 子どもが変わってきている。子ども一人一人が楽しく登校できるように、対応のしかたを研修等で深めてほしい。

○ 保護者、地域社会の価値観の多様化している。規範意識の向上をめざし、学校全体で取り組んでほしい。

○ 本校は自然に恵まれている。地域とともに自然を生かした活動を広めてほしい。

○ 地域には坂が多く、自転車・歩行による事故防止のために、繰り返し、指導してほしい。そのためには、諸関係機関と連携を図ってほしい。また、児童の自転車使用時のヘルメット着用を保護者に呼び掛けてほしい。

